

情報公開文書

| | |
|-------------------------------------|---|
| 研究の名称 | 輸血医療におけるトレーサビリティ確保に関する研究 |
| 整理番号 | |
| 研究機関の名称 | 富山大学附属病院 |
| 研究責任者 (所属・氏名) | 検査・輸血細胞治療部 村上純 |
| 研究の概要 | <p>【研究対象者】 2022年4月から2025年3月までに当院を受診し、血液製剤の輸血を受けた方。</p> <p>【研究の目的・意義】血液製剤の輸血によって生じるアレルギー反応や発熱などの副作用は、その実態や原因の多くがわかっておりません。本研究では、日本における血液製剤の使用の実態や、輸血による副作用の実態を調査解析することで、輸血の安全性・安全供給を目指します。</p> <p>【研究の方法】使用する情報：血液製剤を製造している日本赤十字社の持つ血液製剤とその献血された方のデータと、本学で輸血を受けた方のデータを、個人情報を除いた形で抽出し、血液製剤の製造番号で連結して解析する事で、輸血の実態を調査します。新たに加わる身体的および経済的、医療的負担はありません。</p> <p>【研究期間】 実施許可日 ~ 2025年03月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 研究の成果は、研究対象者を特定できない形で公表します。</p> |
| 研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無) | <p>情報の他機関への提供：本研究は、国立感染症研究所が主導する他施設共同研究で、国立感染症研究所および各参加施設の倫理委員会により承認を受けています。当院が提供する情報は、血液製剤のデータ（製造番号、採血日、種類、最終納品日、有効期限、製剤名称）とその輸血を受けた方のデータ 医療機関で輸血を受けた受血者（血液型、性別、年齢、輸血による副作用の有無と種類）です。</p> <p>当院が提供したデータは国立感染症研究所に送られ、他施設から送られたデータとともにデータベースを形成し解析します。</p> |
| 研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名 | 国立感染症研究所 血液・安全性研究部 松岡佐保子 |
| 研究資料の開示 | 研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。 |
| 試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名） | 国立感染症研究所 血液・安全性研究部 松岡佐保子 |
| 研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口 | <p>研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 074-634-7792 FAX 074-434-5086 E-mail: jmura@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 検査・輸血細胞治療部 村上純</p> |